

都道府県名：千葉県	市町村名：佐倉市
<p>1. 活動名 総合的な学習の時間「森林と環境」</p>	
<p>2. 取組の背景、目的</p> <p>&lt;目的&gt;  ○森で様々な活動をするにより、自然に興味を持ち、その良さを感ずることが出来る。  ○森での間伐作業の体験を通し、森を守り育てる活動の大切さを考えることができる。  ○環境を守るために自分たちにできることは何かを考え、実行することができる。</p>	
<p>3. 実施主体 佐倉市立寺崎小学校</p>	
<p>4. 取組の概要</p> <p>佐倉市立寺崎小学校の5年生64名（+教諭3名）が、佐倉市内の教育の森*で林業体験学習を行った。当日の講師・スタッフとして、農林振興センター職員が、4名参加。</p> <p>主な活動内容は、間伐体験、ネイチャーゲーム。</p> <p>①森の話聞き、実際に森の中を歩いてみて体感する。  ②林業普及指導員がチェーンソーで木の伐採を行う様子を見学し、伐採された木の樹齢や樹高について班ごとに話し合ってみて後、実際に測定を行い、木の大きさについて知り、年輪の話などを聞き学んだ。  ③間伐の方法について、資料をもとに農林振興センター職員から説明を受けてから、班ごとに分かれてノコギリの練習をして、実際に間伐・枝打ち・玉切りまで一連の作業を体験した。  ④ネイチャーゲームで「森の中の人工物探し」を行った。  ⑤1日活動した森への感謝の気持ちを込めて、森林内のごみ拾いを行い、後片付けを行った。</p> <p>*教育の森*とは…自然に触れ、森林・林業に関する体験活動等ができる場所として、所有者の協力が得られた森林を、千葉県が「教育の森」と認定しているものである。現在、県内で98か所認定されている。</p>	
<p>5. 支援事業（国、都道府県、各種団体等から支援、補助を受けている事業名、及び補助率を記入して下さい。）</p> <p>特になし</p>	

## 6. 取組等についての成果や課題

### 【学校側から】

#### <成果>

- 実際に間伐体験やネイチャーゲームなどの体験活動を行ったことで、自然環境や森林が抱える問題等について興味・関心を強く持つことができた。
- 国語科・社会科での学習や体験活動をもとに、個人で木や森林に関するテーマを設定して調べ学習を行い、より知識を深めることができた。
- 自然環境や森林が抱える問題に対して、自分にできることはないかと考え、実践しようとする姿が見られるようになった。

#### <課題>

- ただ木を切る体験をするというだけでなく、一人一人が間伐を行う意義や森林を守り育てていくということの大切さを十分理解させたいと、活動を行わせることができていなかった。
- 日常生活の中で、森林と関わる環境が少ないため、学習の中でもつことができた興味・関心を維持し、自分自身で考えたことを実践に移していくことができるかが課題である。
- 屋外での活動であるため、実施が可能な時期と学習の進度を調整することが難しかった。より効果を得ることができる時期に実施できるようにするとよいと思われる。
- けがや事故を伴う可能性のある活動であるため、十分な安全面での配慮が必要である。

写真添付欄



写真の説明欄

林業普及指導員から森についての話を聞き、森の働き・森の手入れをするということについて学ぶ。

その後、はじめて森の中に入って見て、森の土の柔らかさに驚く。

まわりの様子も観察してみました。



年輪・樹高あてを行い、班ごとにどれくらいか考え、想像してみる。

実際に伐採した木の樹高を測ってみると、初めに想像していたよりも大きいことを知り驚いていた。



ノコギリの練習をしてから、実際に間伐体験を行った。実際にやってみることで、立ち木を伐るということは、想像していた以上に難しいことを知った。

班のみんなで力を合わせて、少しずつ作業を進めていく。無事に1本伐り終えた時には、大きな達成感を感じているようであった。



自分たちで伐った木の年輪を数える。

細い木ではあったが、想像していたよりも長い年月を経ていた。

同じくらいの年月が経っていても太い木・細い木があることを不思議に思い、まわりの様子を観察し、理由を考え、学びを深めていった。